
「PFASに関する今後の対応の方向性」を踏まえた 当面の主な取組について

令和6年8月

環境省

1. 飲用によるばく露の防止

① 飲用によるばく露の防止に資するモニタリングの強化

- ✓ 水道水源や飲用に供されている井戸など、飲用によるばく露の防止に資するモニタリングを強化するよう、対応の手引きを改訂。

② 水道水PFOS等全国調査

- ✓ 水道水におけるPFOS及びPFOAの検出状況等を把握するため、環境省と国土交通省と共同で、水道統計の対象に加え、小規模な簡易水道、専用水道も含めて、水質検査結果を調査中。

③ 水道水における目標値の取扱いの検討

- ✓ 食品安全委員会の健康影響評価結果や諸外国の最新の国際動向を踏まえ、水道水の暫定目標値の取扱いの検討を進める。

④ 水道水における浄化技術に関する知見の収集・整理

- ✓ 浄水場などにおける水道水の浄化技術に関する最新の知見を国土交通省と連携して収集し、水道事業者等において活用できるよう整理する。

2. 科学的・技術的知見の更なる充実

①PFAS総合研究

- ✓ 採択された研究を通じて、PFOS、PFOA以外のPFASのうち、優先的に取り組むべきPFAS（群）に関する知見を充実させる。

②子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の活用

- ✓ 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）を推進し、健康影響に関する知見を充実させる。

③化学物質の人へのばく露量モニタリング調査の本調査

- ✓ 平成30年度からパイロット調査を実施。現在、専門家の御意見を踏まえつつ、PFASを含む化学物質の、一般的な国民のばく露量を把握することを目的とした本調査の設計について検討中。

3. 汚染拡大防止に資する取組

①PFOS等含有泡消火薬剤の在庫量調査の実施

- ✓ PFOSを含有する泡消火薬剤について、関係省庁・関係団体と協力し、4年に一度在庫量調査を実施。今回（令和6年）、PFOSに加え、PFOA、PFHxSを含有する泡消火薬剤の在庫量について調査中。

②地下水・土壌等に関する技術的知見の充実

- ✓ 地下水・土壌中の挙動等に関する知見や、PFASの濃度低減に資する処理技術等に関する知見を充実させる。

③活性炭に関する技術的知見の充実

- ✓ 水処理に広く活用されている活性炭について、適正な取扱い等に関する知見を整理する。（活性炭の製造・再生利用事業者などへのヒアリング・調査など）

④PFOS等含有廃棄物の適正処理の推進

- ✓ 産業廃棄物の最終処分場の排水中に含まれるPFOS等の実態把握や処理技術等に関する知見を充実させる。
- ✓ PFOS等含有廃棄物の排出・処理状況等に関する知見を調査・整理し、適正処理に向けて技術的留意事項の内容を充実させていく。

⑤POPs条約を受けた対応

- ✓ PFOA関連物質の化学物質審査規制法第一種特定化学物質への指定を進めるなど、POPs条約での議論等を踏まえた対応を行う。

- ✓ 不安の声はたくさんあることから、地方自治体の職員がリスクコミュニケーションに活用できるよう、関連する情報を集約した行政官向けのハンドブックを作成する。

- PFASとは
- 環境中のPFAS
- 人の健康への影響
- PFASへの対応
- 諸外国の動き

※その他、関係する資料を掲載



- ✓ 水質の暫定目標値を超過してPFOS等が検出された自治体に対して、丁寧な技術的助言を行う。
- ✓ 地域の求めに応じ、専門家の紹介や自治体の設置する委員会などへの環境省職員の参加などによる技術的支援を行う。